

**奈良市民憲章**

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましよう。奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。奈良は清濁で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまづくりをしましよう。

# 奈良市民だより

No. 502

市民のうごき

12月1日現在 (前月比増)

人口 311,942人 (703)

男 151,261 (314)

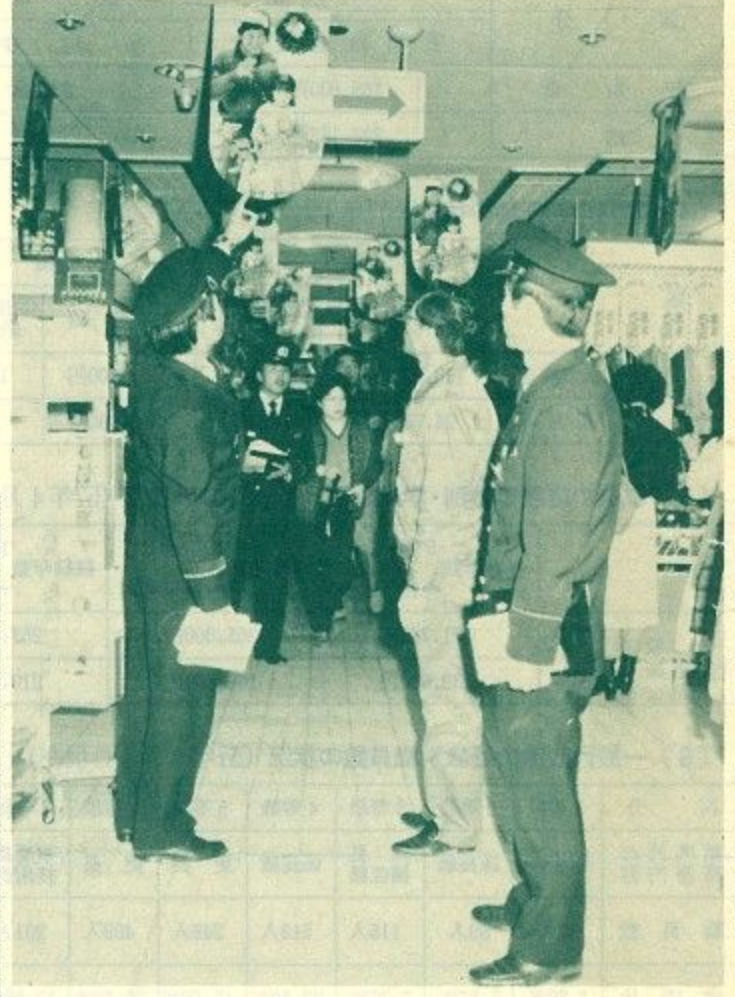
女 160,681 (389)

世帯数 100,087 (224)

## 年末年始を無災害で!

今年もいよいよ余すところ半月となりました。年の瀬は一年間のしめくくりと、迎春準備にあわただしい時期です。このあわただしいすきにつけ入ってくるのが「うっかり火災」「空き果ねらい」「ひったくり」などです。また年末年始は忘年会、新年会とお酒を飲む機会が増えるので心配されるのが飲酒運転とそれによる自動車事故です。

年末年始を市民のみなさんに無災害で、つつがなく過ごしてもらおうと、市消防本部では「歳末火災予防運動」を、市と奈良警察署では「いのちを守る師走作戦」奈良警察署と奈良防犯協議会では「年末年始防犯運動」をくりひろげ、無火災・無事故・無犯罪の明るい越年、和やかな迎春を願っています。



「非常口」の文字が見えないからこのピラは外しなさい」と厳しい防火診断

### 事故防止

まちは人の波、道路は車の洪水。師走はまち全体が何となく気ぜわしくなります。その慌ただしさのなかで、ややもするとわたしたちは、心のゆとりを見失いがちです。時間に追われての運転中ついほかのことを考えたり、わき見運転をするのは大変危険です。ちょっとした心のスキが重大な事故を招きます。安全なスピードで十分な車間距離を保ち、前方の安全を確認し、常に「ゆとり」をもって運転しましよう。

歩行者も、年末になると気分的にいらいらして、つい先を急ぐ気持ちからいきなり道路に飛び出したり、無理な横断をしたりする光景が目につきます。はやる気持ち、あせる気持ちは歩行者にも禁物です。



年末から年始にかけて厳しさを加える交通検問

年末から年始にかけては「忘年会」や「新年会」などが重なり、何かとお酒を飲む機会が多くなります。お酒を飲むと、自分では酔っていないと思っても感覚は麻痺し、素早い判断や行動ができなくなり、飲酒運転は交通事故と背中合わせになっているのです。

飲酒運転の防止には、ドライバー自身はもちろんのこと、家族、地域、職場ぐるみの注意も必要です。

◇家庭では——  
・家のだれかが自動車を外出するときは、主婦を中心に「お酒を飲んで運転しない」と愛のひと声を。  
・自動車を運転してきた客には酒類を絶対に出さない。  
◇職場では——  
・酒の出る会合などには自動

十二月九日に開会された十二月定例会は、初日の本会議で会期を二十三日までの十五日間と決めた。慎重審議が続けられていた。提出された主な案件はつぎのとおりです。

【報告】昭和56年度歳入歳出決算の認定  
【議案】市長専決処分報告並びに承認を求めるとして昭和57年度一般会計補正予算▽同国民健康保険特別会計補正予算▽同老人保健特別会計補正予算▽市議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定▽市役所出張所設置条例の一部改

### 防火

年末火事の原因のほとんどが「年の瀬のあわただしさ」に、火の元もついおろそかになり、「というものです。十二月は今年一年の締めくくりに引締め、いっそう火の用心に心がけてください。

市消防本部では、この時期に商店街等の防火指導、歳末特別警戒を実施して火災防止につとめます。市民の皆さんもつぎの事を守り、あわただしい年末に一件の火災も出さないよう警火心を引き立ててください。

◇コンロ  
・コンロのまわりには燃えやすいものを置かない。

◇ストーブ  
・石油ストーブは火のついたまま持ち運んだり、給油したりしない。  
・カーテン、ふすまなど燃え易い物の近くで使わない。  
・ストーブをつけたまま空室にしない。

◇電気器具  
・ホームごたつ、アイロン、ヘアードライヤーなどの電熱器具は使用後必ずさし込みプラグをコンセントから抜く。

◇たばこ  
・たばこは必ず灰皿のあるところで吸う。  
・吸い終わって吸い殻は投げ捨てない。

◇防犯  
・寝たばこやくわえたばこをしない。  
◇おふる  
・空き家を防犯のため、火をつけたら時々水を確かめる。  
◇家のまわり  
・建物のまわりに燃えやすいものを置かない。

歳末は経済活動が激しく、なにかと大金の動きが目立つ時期です。それだけに人混みなどを狙うスリや銀行・郵便局などの客にまつわりついたり、たぐりをはじめる強盗・通り魔など物騒な世相を呈します。警察では年末年始防犯運動(十二月一日～十五日)を展開し、金融機関はもとより事業所、家庭にもつぎのような自衛策を講じるよう呼びかけています。

◇空き果ねらいの防止  
・ちよっとの留守でも戸締まりは必ずする。  
・戸締まりは「ワンドア・ツーロック(一つの戸に二つの施錠)」とする。  
・外出時は隣近所へ声をかけしておく。

◇忍びこみの防止  
・夜は早目に戸締まりして、寝る前に更に確かめる。  
・夜は家の中は暗く、外は明るくする。  
・防犯ベルをとりつける。  
◇ひったくりの防止  
・金融機関への行き帰りや、人通りの少ないところの通行には特に気をつける。  
・大金を持ち歩くときには必ず二人以上で行動する。  
・必要以上のお金は持ち歩かない。

### 酒類提供業者は

・自動車を運転してきた客に酒類は出さない。自店の従業員にもこのことを十分指導する。  
・飲酒して自動車を運転しようとする客からは車のキーを預かり、タクシーなどを利用してもらおう。

## 12月定例会、会期は15日間

9日開会、会期は15日間

正▽市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正▽財政調整基金条例の制定▽老人医療費の助成に関する条例の一部改正▽心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正▽乳児医療費の助成に関する条例の一部改正▽母子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正▽国民健康保険条例の一部改正▽奈良国際文化観光都市建設計画大宮土地区画整理事業施行に関する条例の一部改正▽災害申請金の交付及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正▽市道路線の認定▽市道路線の廃止▽昭和57年度水道事業会計補正

今議会の日程(予定)はつぎのとおりです。  
十二月九日 本会議開会  
十日 十二日 議案熟議のため休会  
十一日 本会議(質疑・一般質問)  
十二日 本会議(質疑・一般質問)  
十三日 本会議(質疑・一般質問)  
十四日 本会議(質疑・一般質問)  
十五日 本会議(閉会)

### 議会の日程





「長年こころさんでした」と田村キヨノさんと  
に木山市長から表彰状をおくる

### 日吉館の「おばちゃん」 に市から有功者表彰

心こもる永年の接待をたたえて

奈良の芸術院、などといわれて、奈良を訪れる多くの文化人に常宿として愛されてきた登大路町の旅館「日吉館」が今年いっぱい閉館されることになったので、市ではこれを機会に、その経営者田村キヨノさん(72歳)に市の表彰条例による有功者として表彰し、その労をねぎらいました。

大正二年の創業以来七十年、キヨノさんが五十年にわたる心のこもった家庭的な雰囲気のもと利害を超えた良心的な接待は、「おばちゃん」と呼ばれて親しまれ、多くの文化人に定評のあるところ。六日、木山市長が日吉館を訪れ、表彰状を読みあげ、記事と銀盃を手渡し、「五十年もの長い間、古都奈良を訪れる人たちに献身的に尽くしていただき、本当にありがとうございます」とねぎらいの言葉をかけると、「私の健康上の理由でやめさせていた

市民そろうって心温かいお正月が迎えられようかと市では十二月中、歳末慰問を行っています。  
十二月七日には木山市長が一人住まいの老人遺族の二人を慰問、慰問品の肌着セットや五徳みそなどを贈りました。木山市長が慰問したのは松田ムラさん(西笹野町、75歳)と山本トキさん(東之阪町、78歳)で、松田さんの夫吉徳さん、山本さんの長男伊三夫さんは第二次世界大戦で戦死されています。慰問した木山市長は霊前に手を合わせてから、山本さんと松田さんそれぞれに「寒くなりますが、身体に気をつけてください」といっていました。  
市内七十九人の一人住い老人遺族への慰問は十二月十五

### 市の歳末慰問

市長も二  
家庭慰問

日まで、市の社会福祉事務所職員により行われました。このほか、市の歳末慰問として千七百三十三世帯の生活保護家庭に見舞金と市民各種団体のボランティア活動によって仕込まれた「五徳みそ」を贈り、生活保護を受けて入院している四百十人、各施設に入

### 見事な連携消防

都市連合歳末の総合訓練

消防本部は非常招集を発令す  
この訓練は、非常時に備えて北和都市圏の消防機能の充実と一体化を図るために毎年行われているもので、生駒市役所一階機械室から出火、職員十人が屋上に避難し、救助を求めているとの想定で実施されました。  
この日、四市から出動した消防第一報を受けた生駒市消防本部は非常招集を発令す。北和都市連合協議会(会長木山奈良市長)の消防総合訓練が十一月二十七日、生駒市役所で行われました。  
奈良・大和郡山・天理・生駒の北和四市で組織されている北和都市連合協議会(会長木山奈良市長)の消防総合訓練が十一月二十七日、生駒市役所で行われました。  
消防本部は非常招集を発令す。北和都市連合協議会(会長木山奈良市長)の消防総合訓練が十一月二十七日、生駒市役所で行われました。  
消防本部は非常招集を発令す。北和都市連合協議会(会長木山奈良市長)の消防総合訓練が十一月二十七日、生駒市役所で行われました。



生駒市庁舎出火、に勢ぞろいした4市のはしご車

### 松江市から 激励の国体旗

四氏が特賞に入賞

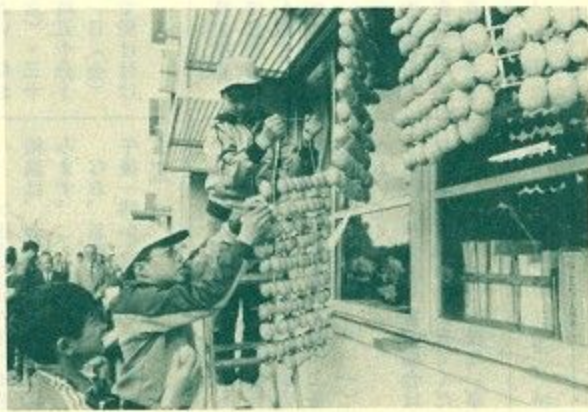
今年「くにびき国体」の夏季・秋季大会の主会場として総合開閉式と夏季の水泳、秋季の陸上競技等の競技が行われた島根県松江市の中村芳二郎市長が十一月二十四日に奈良市役所を訪問、西田・高瀬両助役と会って「わかさ国体 折大成」と書かれた国体旗を手渡し、昭和五十九年開催の「わかさ国体」成

### 市民相談

- 市政相談
  - 本庁相談室=平日午前9時~午後4時。土曜日は正午まで。
  - 西部公民館=毎週火曜日午後1時~4時。(電話@3978番)
- 法律相談
  - 本庁相談室=毎週月曜日午後1時~3時。担当弁護士(敬称略)
  - 10日 城 徹 17日 坂口公男
  - 24日 佐藤公一 31日 西田正秀
  - 毎週火・木曜日は裁判所内弁護士控室で弁護士による法律相談があります。それに必要な相談カードは平日午前9時~午後4時に本庁相談室で渡します。
- 行政相談
  - 本庁相談室=毎週水曜日午前9時~午後4時。担当相談員(敬称略)
  - 5日 近東弘七 12日 羽淵幹夫
  - 19日 竹 博美 26日 桜井利雄
- 人権相談
  - 本庁相談室=毎週金曜日午前9時~午後4時。担当相談員(敬称略)
  - 7日 雲 茂男 14日 植松 宗平
  - 赤松 一雄 14日 荒木 武宏
  - 21日 米浪 勝之助 28日 狭川 明フ
  - 小倉 良壽
- 年金相談
  - 厚生・国民年金の相談
  - 西部公民館=毎月第3月曜日午前10時~午後3時。
  - 国民年金課=毎月第1月曜日午前10時~午後3時。(1月は10日)
- 心配ごと相談
  - 本庁相談室=毎週金曜日以外の平日午前9時~午後4時、土曜日は正午まで。
- 消費生活相談
  - 本庁相談室・西部公民館=毎週火・木曜日午前10時~午後4時。
- 家庭児童・母子相談
  - 本庁相談室=毎週金曜日午前9時~午後4時。
  - 福祉第二課=平日午前9時~午後5時。土曜日は正午まで。
- 戦没者遺族相談
  - 福祉第一課=毎月第1金曜日午前9時~午後4時。遺族年金などあらゆる相談。
- 高齢者職業相談
  - 本庁高齢者職業相談室=平日午前9時~午後4時、土曜日は正午まで。対象は55~65歳前後の人。
- 電話サービス
  - 電話@1211(代)
  - ・市政への問い合わせ・要望・苦情
  - ・戸籍謄抄本・附票の写し、住民票の写しの交付予約など。

### たのしく 干しがきづくり

精華小学校で



市立精華小学校(高橋町、藤本真典校長)では、十一月三十日全校児童八十人が干しがきづくりに取り組みました。この日までに一年生から六年生までの全校児童が学年をこえたグループでカキ取りとカキを刺す竹ぐしづくりに励み、準備はすっかり整っていました。本番当日は、校庭に広々と敷かれたむしろの上ですらりと児童がすわり、ナイフでカキの皮むきに手ぎわを競い、むきあがった分かつぎつきと竹ぐしに刺さっていました。別のグループはこ

良市関係の特賞入賞者はつきの方々です。(敬称略) 奥田和正(五条町) 白葉▽中西邦宏(西狭川町) 日吉館は、キヨノさんの損得を度外視したあたたかいもてなしで、宿泊した人々から愛されてきました。その中には著名な文化人も少なくなく、志賀直哉、堀辰雄、同館の看板を書いた会津八一などもしばしばここに宿泊し、古都奈良をめぐる歩き数々の作品を残しました。 全国から閉館を惜しむ声やキヨノさんの苦勞をねぎらう声が多数寄せられる中、七十年にわたる日吉館の灯は今年限りで静かに消されることになりました。

と校舎の軒下に運び、見る見るとるされて見事なくしがきのすだれができました。この干しがきづくりは、同校の教育方針の「支え合うなかつぎづくり」の一環として、①支え合って共に創る喜びを感じさせる②地域にたくす気持ちの大切さを体得させる③ナイフの使い方慣れさせ手さきの器用さを養うをねらいとし三年前から行われていた。 干したカキは給食の時間に食べるほか、残りは十二月二十四日の終業式の日児童全員が校区の家庭三百軒に配り正月のお飾りに役立ててもらいます。写真はお飾りに刺したカキを軒下につるす子ら

### 小浜の物産と観光 展大にぎわい

姉妹都市・福井県小浜市の「小浜の物産と観光展」が十一月二十五日と二十六日に学園北二丁目の西部公民館で開かれました。これは両市の親善を深めるために十一年前から行われているもので、今回で十八回目。 会場の同公民館講座室には小ダイのささ漬、若狭カレイ、焼きサバ、カニなどの海産物のほか若狭和紙、若狭めづなどの特産品も加えて二百種類二万点がところ狭しと並べられ、買い物カゴを持った主婦の人氣を呼び、飛びように売られていました。西郷地区を中心に、二日間で約三千四百人の市民でにぎわいました。

